

二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種

2種混合は、ジフテリアおよび破傷風に対して追加免疫をつけるもので、乳幼児期に受けた三種混合または四種混合の追加接種です。

乳幼児期の三種混合または四種混合の接種（初回：3回、追加：1回）が、きちんと完了していない場合は、医師または健康づくり課に相談してください。



*二種混合ワクチンとは・・・？

①ジフテリア、②破傷風の2つが混合されているワクチンです。

①ジフテリアとは？

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。感染は主にのどですが、鼻にも感染します。のどなどについた菌が増えて、炎症がおり、発熱、のどの痛み、犬の吠えるようなせき、嘔吐などの症状が出ます。重症になると、窒息や心筋障害、神経マヒなどを起こすことがあります。

②破傷風とは？

破傷風菌はヒトからヒトへ感染するのではなく、土の中にいる菌が、傷口から体の中に入ることによって感染します。体の中で菌が増えると、顔の筋肉が動かしくいなどの症状が出ます。徐々に口が開けにくくなり、その後、全身の筋肉が縮んでけいれんを起こしたり、死亡したりすることもあります。特に「災害時」などには、感染する可能性が高くなります。自然に免疫ができることは無く、ワクチン接種により免疫をつける以外に方法がありません。

*二種混合ワクチンの対象年齢・接種回数は？

- ・対象年齢：11歳～13歳未満
- ・接種回数：1回



*二種混合ワクチンの副反応について

主な副反応は、注射部位の反応としては、発赤（赤み）、腫脹（腫れ）、硬結等、全身反応として発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、まれに下痢、めまい等がありますが、いずれも一過性で2～3日中に消失します。ただし、局所の硬結は、1か月後でもなお残る場合もあります。

3種混合または4種混合予防接種を受けた後、局所の反応が強く、発赤や腫脹が腕全体に及んだような方は、今回の接種について医師と相談してください。

*次の方は接種を受けないでください

- ①明らかに発熱している方（通常は37.5度を超える場合）
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③このワクチンに含まれる成分でアナフィラキシー（通常、接種後30分以内に起こる呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことのある方
- ④その他、かかりつけの医師に予防接種を受けない方がよいと言われた方

（裏面もご覧ください）

*** 次の方は接種前に医師にご相談ください**

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ②過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱、全身性発しんなどアレルギーを疑う症状のみられた方
- ③過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- ④過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- ⑤このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方

*** ワクチン接種後の注意**

- ①接種後 30 分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ②接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③接種後 1 週間は体調に注意しましょう。また、接種後腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは、医師にご相談ください。
- ④このワクチンの接種後は、違う種類のワクチンを接種する場合には、6 日以上の間隔をあける必要があります。
- ⑤接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが接種部位をこすことはやめましょう。
- ⑥接種当日は激しい運動は避けてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

*** 予防接種による健康被害救済制度について**

市が実施する予防接種によって引き起こされた副反応により、健康被害が生じた場合、厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときには、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。

★予防接種の記録を残しましょう！

予防接種を受ける当日は、母子健康手帳を必ず持参し、予防接種の記録を残しましょう。

※「予防接種と子どもの健康」より抜粋

<問合せ先>

アイアイ親子サポートセンター（鯖江市健康づくり課）

鯖江市水落町 2 丁目 30-1 アイアイ鯖江内 TEL 52-1138

